

第 610 回

クローズアップ**この会社のココに注目!****名古屋支店発****(株) シニア東海**

(TDB企業コード 904003131)

求められるベテランの力

比較的好調とされている東海経済ではあるが、人手不足はリスク要因として懸念されている。少子高齢化、さらには人口減少社会への突入で生産年齢人口の減少は避けられないが、そのなかで今後の活躍が期待されているのが女性とシニア層だ。知識も技術も経験も豊富なシニア層の労働力としての掘り起こしは、長期的にはもちろん、目先の労働需給ギャップを埋めるためにも重要となってくる。

(株)シニア東海は、その名が示すとおりシニア世代に絞った人材派遣業を手がける、同業界でも異色の存在の1社だ。大手技術系派遣会社の役員や、その子会社の代表取締役社長を歴任した高江洲氏が冒頭のような社会状況や自身のこれまでの経験などから、シニア層に特化した人材派遣業のニーズはあると考え、2011年に立ち上げた。せっかく培ってきた技術や経験が定年とともに失われてしまうのは社会的損失でもあるのだが、とくに中小企業では十分な雇用延長の仕組みが用意できないことが少なくない。また、働く側としても仕事は続けたいけれどそれまでのようなフルタイム勤務は体力的にも厳しいという事情もある。このギャップを埋める方法のひとつが、人材派遣という雇い方であり働き方といえるだろう。

2015年9月の派遣法改正により、60歳以上の派遣労働者の期間制限が廃止された。企業側



「少子高齢化社会に貢献を」と話す高江洲社長としては抵触期限を気にせず「シニア派遣」を活用でき、現場で共に働くことで若い技術者の良いお手本にもなる。かつてのような大量生産ではなく、近年は小ロットのものを加工する技術が求められることが多く、その点でも即活用できる技術や経験を持っているシニア人材の活躍の場は増えてくるだろう。

現在の登録スタッフは600名を超え、応募件数は月に20~30件に上るといふ。団塊の世代のリタイヤによってますます“供給”は増えると予想される一方で、適宜適所の人材への需要もまだまだ旺盛だ。「事業として、単に規模を求めていくようなことは考えていません。人と企業と社会の活性化に少しでも貢献していければ」と高江洲氏は話す。決して目立つわけではないが、当社に寄せられている期待は高い。

(名古屋支店情報部 猿渡 映一)

会社概要**(株)シニア東海**

本社:名古屋市熱田区金山町1-5-2

クマダ 77ビル 6F

電話:052-678-7750

代表:高江洲 晋氏(1959年生)

業種:人材派遣業

設立:2011年4月

資本金:3100万円

年収高:約2億800万円(2016年3月期)

URL:<http://www.senior-tokai.co.jp/>